

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線42354
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

改善対策届出一覧表

改善対策届出日：平成28年 4月19日

| | | | | |
|--------------------------------|---|---------|-----------------------------------|--|
| 改善対策届出番号 | 492 | 改善対策開始日 | 平成28年 4月20日 | |
| 届出者の氏名又は名称 | スズキ株式会社 代表取締役 鈴木 修 | | 問い合わせ先：お客様相談室 TEL 0120-402-253 | |
| 不具合の部位（部品名） | ① 動力伝達装置（ナット）、② 原動機（エアクリーナ） ③ 燃料装置（燃料ホース） | | | |
| 不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | ① 動力伝達装置において、ベルト駆動用のプーリの組付け方法が不適切なため、プーリの固定ナットの締付けトルクが不足しているものがある。そのため、走行中にナットが緩み異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、駆動力を伝えることができず走行不能に至るおそれがある。 ② 車両製造工程において、原動機エアクリーナ内部にボルトが混入したものがある。そのため、走行中の振動等により当該ボルトがスロットルボデーへ移動し、最悪の場合、スロットルバルブにはさまり、原動機の回転数が下がらないおそれがある。 ③ 燃料ホースにおいて、継ぎ手部（クイックコネクタ）の嵌合作業が不適切なため、クイックコネクタが正しく嵌合していないものがある。そのため、嵌合部より燃料が漏れるおそれがある。 | | | |
| 改善対策の内容 | ① 全車両、ベルト駆動用のプーリ固定ナットを規定トルクで締付ける。 ② 全車両、エアクリーナとスロットルボデーを点検し、ボルトを発見した場合は取り除く。 ③ 全車両、燃料ホースの継ぎ手部（クイックコネクタ）を正しく嵌合する。 | | | |
| 不具合の件数 | ①11件 ②1件 ③2件 | 事故の有無 | ①、②、③無し | |
| 発見の動機 | ①、②、③ 市場からの情報による。 | | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、その旨を点検整備記録簿に記載する。 | | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | 改善対策対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間 | 改善対策対象車の台数 | 備考 |
|-----|-----------|-----------|--|------------|----------|
| スズキ | EBJ-CE47A | 「アドレス110」 | CE47A-100016～CE47A-114653 平成27年2月24日～平成28年3月30日 | 14,001 | ① ② ③ |
| | (計1型式) | (計1車種) | (製作期間の全体の範囲) 平成27年2月24日～平成28年3月30日 | (計14,001台) | |